

俳人協会鳥取県支部 令和二年紙上俳句大会成績

令和二年五月

石井いさお特別選者

特選 年毎に背の籠小さく牡丹売 玉井 瑛子

床を拭き這ひ這ひの子の帰省待つ 大下 秀子

初螢余白は闇でありにけり 井田みさ子

入選 大山の北壁指呼に岩つばめ 遠藤 甫人

夕日飲むやうな大口燕の子 阿部 春代

母の日やカセットテープに母の声 吉村 美春

風光るゴルフショットの放物線 縄本 武子

まくなぎの離合集散とめどなし 石山ヨシエ

こもれ日へ躑躅に倦みし目をそらす 西村ゆうき

帰省子に二枚重ねのハンバーク 岩水 節子

怨霊へ火の粉の爆ずる薪能 西村ゆうき

牡丹園百花の中の白に佇つ 清水 節子

夏立つや沿海州に続く波 松本 素子

旅客機の音に逆立ち鯉のぼり 岩水 節子

玫瑰の南限白き浪立てり 長石 彰

互選

7点 夕日飲むやうな大口燕の子 阿部 春代

7点 少年の目のまつすぐに草矢射る 白岩 敏秀

6点 牡丹の散つてことりと日暮れくる 白岩 敏秀

5点 藤棚の下が停車場縄電車 福本 國愛